



素晴らしい暮らし

士がつかないよう根本を切り、切り口から出る乳液を洗い流し、葉が破れないよう箱詰め。技術職です。

要訓練。ちなみにサニーレタスに含まれる注目栄養成分はビタミンC・美肌効果や活性酸素から体をまるもる

カリウム・・高血圧の予防や腎臓にたまりやすい老廃物を尿と一緒に排出する

ベータカルテン・・活性酸素を抑え動脈硬化や心筋梗塞などの生活習慣病からまるもる

などの効果があるそうです。(ネット調べ)

効果があるそうです。(ネット調べ)
健康と豊穰を願つて(記・片山素晴)



今月のスポット



く今日この頃、今月も天龍農林業公社での活動報告です。

空には梅がぽつぽつと模様をつけて、早朝の凍てついた地には福寿草がひっそりと陽を待ちかねています。寒さのゆるい今冬は早々と春の顔を見かけることができますが、冬だったことを思い出したように訪れる朝の冷え込みには身に堪えます。例年よりも半月ほど先を歩く季節に追いつこうと、ソメイヨシノも三月二十日頃には咲き誇るかもしれませんね。ただ、ひとつ気にはるのは、ソメイヨシノは寒さに当たらなければ花を開かないということです。

誰から教わって、詳細を調べてみたんですがソメイヨシノは低温要求度と言つて、十度以下の気温に休眠状態から目覚めるそうです。冬の寒さにじつと耐え忍んで、暖かくなることで固い蕾を割つて、花芽が吹くようなイメージがありますが、実際に寝ているのは秋なんだそう。夏の間に翌年の蕾と葉芽を作り終えて（そういうえば、確かに小さな蕾がついてました）、休眠ホルモンによつて秋のあいだは眠りについて生育を止めることによつて、冬を待つそうです。そうして真冬の十度を下回る気温に約三十日ほど当たると、休眠から目覚めて、花を咲かせる準備に入るそうです。ソメイヨシノの目覚まし時計は暖かさではなく、一ヶ月ほどの真冬の寒さ。つまり、十度を下回る寒さがなければ眠り続けるということです。沖縄にソメイヨシノがないのもこれが理由なんですね。咲かないのであれば誰も植えないでしようし。

昨年、今年と天龍村は雪が少ない暖冬が続いているますが、九州のほうでは天龍村以上に寒さ

がゆるくて過ごしやすいそうで、心配になるがらいだと言つっていました。さすがに九州南部でも最低気温が十度を下回らない冬にはならないと思いますが、ソメイヨシノが花を咲かせられる環境が少しづつ北上しているように思われます。

そういうえば、伊那小沢駅にあるカンザクラも花を開き始めました。ソメイヨシノよりも色が濃くて、張りつめた冬の空によく映えます。サクラは三百種ぐらいあるみたいですが、天龍村には栽培品種も野生種もあり、かつ標高も高低差があるので、サクラを長い期間楽しめるのがいいですね。大河内地区の桜は四月中旬に開花なので、一ヶ月ものあいだ村内でサクラが楽しめます。花ではありませんが、梅花駅伝も開催され、信州に春を告げる出来事が増えてきました。そう、春には告げなければいけないことが増えてきます。それは良い知らせもそうでない知らせも。「」で僕からもひとつご報告です。突然ではあります、三月末をもって、協力隊を辞め、天龍村を去ることにしました。理由はたくさんあって、それらが複雑に絡み合っているため、こういう理由だからというふうにうまく説明することはできないです。ただ一つ言えるのは、熟れた果実は二度と青くならないということ。タイミングが過ぎ去つてしましました。いま手の中にその果実の種があるだけです。いつどこで芽を出し、花を咲かせ実をつけるか今は見当もつきませんが、大事に育てて立派な実を収穫したいと思います。来月のゆらゆら変遷紀が最終号です。



伊那小沢駅のカンザクラ

令和二年四月

二月の活動 篠田大樹

刻々天端

元日に中井侍地区の新年会に参加させていただき、今年が始まりました。元日は家でのんびり過ごしてしまいましたが、毎年元日にしつかり集まるのは凄いなあ、と思いました。

一月の仕事としては中井侍のお茶の営業の準備を主にしました。高級感あるイメージでパッケージをデザインして、五十グラム用の箱と、二十グラム用のパックを完成させました。また、営業用にチラシを作りました。チラシにはお茶畠の写真やお茶の特徴や評価を載せています。まずは自分が生産に携わっている、羽田野さんのお茶の営業をしますが、羽田野さんの茶畠で採れる量以上に注文が取れるようになれば、他の農家さんのお茶も紹介できますし、もっとこんな味のお茶があれば、といった要望があれば他の農家さんのお茶の紹介ができるかと思います。そうして全体的に販路が拡大できれば嬉しいです。

二月に入り営業もはじめ、また、畠も次の作付けに向けた準備が始まりました。また、来月いい報告ができるように頑張りたいと思いまます。



二月中旬の週末には、向方地区でキノコ栽培スタートアップのお手伝いをさせていただきました。事業は終わっても、有志で集まつた「信州つなぐラボ」のメンバーの皆さん、地区の方々と一緒に、とても良い時間を過ごさせていただきました。基本的には一人で黙々と進める作業が好きですが、こうやって集まって皆で作業したり食卓を囲んだりすることは、いい気分転換になるなあと改めて感じました。

二月末で協力隊二年目が終わります。三年目も今までと同じようなことを続けていたら、任期後に村に住み続けることはまず不可能だと思っています。そこで、リモートワーク（遠隔で行う仕事）の計画を進めています。実際に出来るか否かの結果はまだ出ていませんが（この新聞が回る頃にはひとまずの結論が出ています）もしこの形態で働くことになつた場合には、任期後の暮らしを現実的にイメージしつつ、協力隊としての収入が一切なくなつたあと、どれだけ自分で生活できるかのプロトタイプ（原型）構築をしていきたいと思います。

こんにちは。
今冬は本当に暖かかったですね。先日、久々
に大型の電気屋さんに足を運んだのですが
「記録的な暖冬で困っています」との張り紙
と共に、各種暖房器具が大安売りされていま
した。このまま四季が無くなつていくので
しょうか。農作物への被害も心配です。早く
自給用の畑を再開したいものです。

二月三日は満島神社での節分祭を見学させ
ていただきました。考えてみると、節分の由
来をさらきちゃんと調べたことのなかつ自分に
気付きました。宮司さんの締めの言葉の中に
あつた、節分は「追儺祭」とも呼ばれる厄除
けの儀式であり、このような行事を通して心
の不安を取り除いて生活していくことが大切
である、という一節が印象に残っています。
行き過ぎたお金・物質信仰の果てに、人間が
最後に頼るもの、信じるものとは一体なんな
ど。



暖かい気候だからか、南国のお茶は少し苦みがあり、味にパンチがある鮮烈なお茶でした。

地域の特徴が味に出ているようで、その土地ならではの食べ物や飲み物を意識して頂くことの楽しさを改めて感じることができました。

2月で丁度協力隊期間も折り返し地点の1年半になりました。
ここから助走をつけて再スタート、
また改めてよろしくお願ひいたします

丁度帰る時期に新型ウイルスが猛威を振るい始め、空港から天龍村に帰つて来るにあたって悪い菌を天龍村に持ち込んでしまわなか非常に心配でした。そろそろ潜伏期間も過ぎ、特に体調も悪くないのでほっとしています。ということで1月はすっかり冬休みを頂いてしました。

沖縄へのお土産に中井侍のお茶を持ったて行つたのですが、すごく美味しくて飲みやすくて、喜んでもらえたのがとても嬉しかったです。

沖縄にも少数ですがお茶を作つている方がおり、茶畑を見せて頂いたりしたのもすごく良い経験でした。



またの天龍山暮らしへ入門～

文：前田美沙



丁度帰る時期に新型ウイルスが猛威を振るい始め、空港から天龍村に帰つて来るにあたつて悪い菌を天龍村に持ち込んでしまわなか非常に心配でした。そろそろ潜伏期間も過ぎ、特に体調も悪くないのでほっとしています。ということで1月はすっかり冬休みを頂いてしました。

沖縄へのお土産に中井侍のお茶を持つて行つたのですが、すごく美味しくて飲みやすいと、喜んでもらえたのがとても嬉しかったです。

沖縄にも少數ですがお茶を作つている方がおり、茶畑を見せて頂いたりしたのもすごく良い経験でした。